年間授業計画　新様式

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　理科　　科目 化学基礎

教　科：　理科　　科　目：　化学基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　G　組

教科担当者：（Ａ組：高橋、山中）　（Ｂ組：高橋、山中）　（Ｃ組：高橋、山中）　（Ｄ組：高橋、山中）　（Ｅ組：高橋、山中）　（Ｆ組：高橋、相川）　（Ｇ組：高橋、喜多村）

使用教科書：（ 第一学習社　高等学校　新化学基礎　　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】自然の事物・現象についての理解，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能

【思考力、判断力、表現力等】観察，実験などを行い，科学的に探究する力

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度

科目　化学基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章　物質の構成 第１節　物質のその構成要素 物質の分離、物質を構成する元素 元素の確認、物質の三態 原子の成り立ち、同位体とその利用 原子の電子配置、元素の周期律と周期表	元素と原子についての理解 単体、化合物、純物質、混合物の分類 三態変化と温度についての理解	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	第1章　物質の構成 第２節　化学結合 イオン、イオン結合、 イオンからできる物質 共有結合、分子の極性、 分子からできる物質、共有結合の結晶 金属結合と金属結晶	物質を構成する基本粒子である原子の理解 原子の構造と原子番号、質量数の理解 電子配置の原子の性質、周期表の理解 電解質、非電解質、陽イオン、陰イオンの価数とイオン式、イオンの名称 共有結合による分子の形成 金属の性質と金属結合	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2学期	第２章　物質の変化 第１節　物質量と化学反応式 原子量･分子量･式量 物質量と粒子の数 物質量と質量 物質量と気体の体積	質量数12の炭素を基準とする原子の相対質量 原子量、分子量、式量の理解 アボガドロ数と物質量の計算 アボガドロの法則	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	第２章　物質の変化 第１節　物質量と化学反応式 溶解と濃度、化学反応式 化学反応と量的関係	重量パーセント濃度、モル濃度 化学反応式の作り方 化学変化の量的関係	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3学期	第２章　物質の変化 第２節　酸と塩基とその反応 酸と塩基、酸・塩基の強弱と分類 水素イオン濃度とｐH ｐHの測定、中和と塩 中和の量的関係 中和滴定とｐHの変化	酸、塩基の理解とアレニウスの定義 ブレンステッド・ローリーの定義 酸、塩基の価数と強弱 水の電離、水素イオン濃度と水酸化物イオン濃度 pHの理解	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計 70